

平戸市 議会だより

CONTENTS



- 2 … 5月臨時会、6月定例会 ここに注目!
- 4 … 常任委員会レポート
- 5 … 主な議案
- 6 … 5月臨時会、6月定例会で審議された案件
- 8 … 意見書
- 9 … 一般質問
- 14 … 平戸のチカラ



平戸城、キャッスルステイ懐柔櫓、見奏櫓

vol.76
令和4年(2022年)
8月1日発行

とかいせん

No.76.2022.8.1 平戸市議会だより

編集・発行:平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1-508-3

TEL22-9170

FAX22-3427 E-mail:gikar@city.hirado.lg.jp



このコーナーでは、平戸市の宝をご紹介します。

平戸城 懐柔櫓宿泊施設 (キャッスルステイ懐柔櫓)

どんな施設

平戸城は、1599年に松浦家26代鎮信によって築かれた城で「日の岳城」と呼ばれていました。しかし、豊臣秀吉との親交が深かった松浦家は、天下統一を果たした徳川家康の疑いを晴らすため、「日の岳城」を焼却しました。その後1704年、松浦家30代棟のとき「平戸城」の再築を開始し、1718年に完成。明治4年に廃城となった後、昭和37年に平戸市により復元されました。

そして、平成の大規模改修により、現在の「新しい平戸城」と日本初の常設宿泊施設「城泊」として生まれ変わり、現在は平戸城の指定管理者である、株式会社狼煙の4名のスタッフによって管理・運営されています。

日本初の常設型城泊施設として

平戸城の管理・運営をおこなっている、株式会社狼煙の鞍掛代表にお話を伺いました。

Q 城泊が始まって1年以上が経過しましたが、宿泊客の状況と、宿泊客へのおもてなしについて教えてください。

鞍掛代表 令和3年4月1日に城泊施設がオープンして以降、令和3年度は延べ6組の宿泊がありました。

城泊のお客様に対しては、目前での平戸神楽鑑賞や旅の安全祈禱、平戸産の食材を使った料理・地酒の振舞い、当社スタッフ(※)が勧める平戸観光スポット案内等のほか、一般には公開していない夜間の天守閣でのおもてなしなど、城泊でしか体験できないサービスを提供しています。

※スタッフのうち2名が、県から認定される「長崎コンシェルジュ・シルバー」を取得

Q 城泊で提供される料理は、どのようなものですか？

鞍掛代表 季節に応じたメニューを考案して提供しています。また食材では、可能な限り平戸産品を市内の産直市場等で入手し、お客様に最高の形で提供するよう心掛けています。

Q 平戸城の指定管理者として、今後どのようなことに取り組んでいきたいですか？

鞍掛代表 城泊は、大手企業が実施する懸賞キャンペーンの最上位の景品になるなど、観光コンテンツとして非常に魅力的なものです。今後は乾櫓でのカフェの開業に加え、平戸市や地域DMOである平戸観光協会、企業等と連携し、アクティビティや参加型イベントの充実、四季・時間帯を捉えたコンテンツ開発にも取り組みたいと考えています。



お話を伺った株式会社狼煙の鞍掛代表



敷地内にある乾櫓は、今秋にカフェとしてオープン予定であり、改修が進んでいます。



お問い合わせ先 平戸城 TEL (0950) 22-2201

平戸城 🔍 検索

広報特別委員会

- 委員長 松口 茂生
- 副委員長 神田 全記
- 委員 井元 宏三
- 委員 針尾 直美
- 委員 吉住 龍三

今回の平戸のチカラは、平戸城と平戸城泊を取材した。「平戸城」は平戸で一番の観光名所であり、「城泊」は平戸観光話題の中心である。コロナ感染拡大防止により、外国人観光客の受け入れ制限により、大きく影響を受け、また、国内観光客にとっては高額の60万円という料金設定もあり、令和3年度の宿泊者数は6組にとどまっている。

しかし、宿泊内容は、空港からの移動時間を、ラグジュアリーなものにし、到着後は日本文化を体験し、「春日の棚田」や「生月サンセットウェイ」の「根獅子の浜」等の平戸の絶景ポイントを満喫、その後、夜が更けるまで天守閣最上階での優雅なひと時を過ごすことができる、といった充実した内容だ。

一方、「平戸城」の方も、今年の秋にはカフェをオープンさせ、更なる集客を計画中である。運営者からは「敷地内に咲く四季折々の花々と、四季により変化する平戸城からの絶景をぜひ見て頂きたい。」と紹介を頂いた。外国人観光客規制緩和後の来訪者・宿泊者数の推移がどのように変化してくるのかを楽しみにしている。(井元 宏三)

編集後記



担い手確保のため 「特定地域づくり事業協同組合」を設立

総務厚生委員会

特定地域づくり事業

事業内容

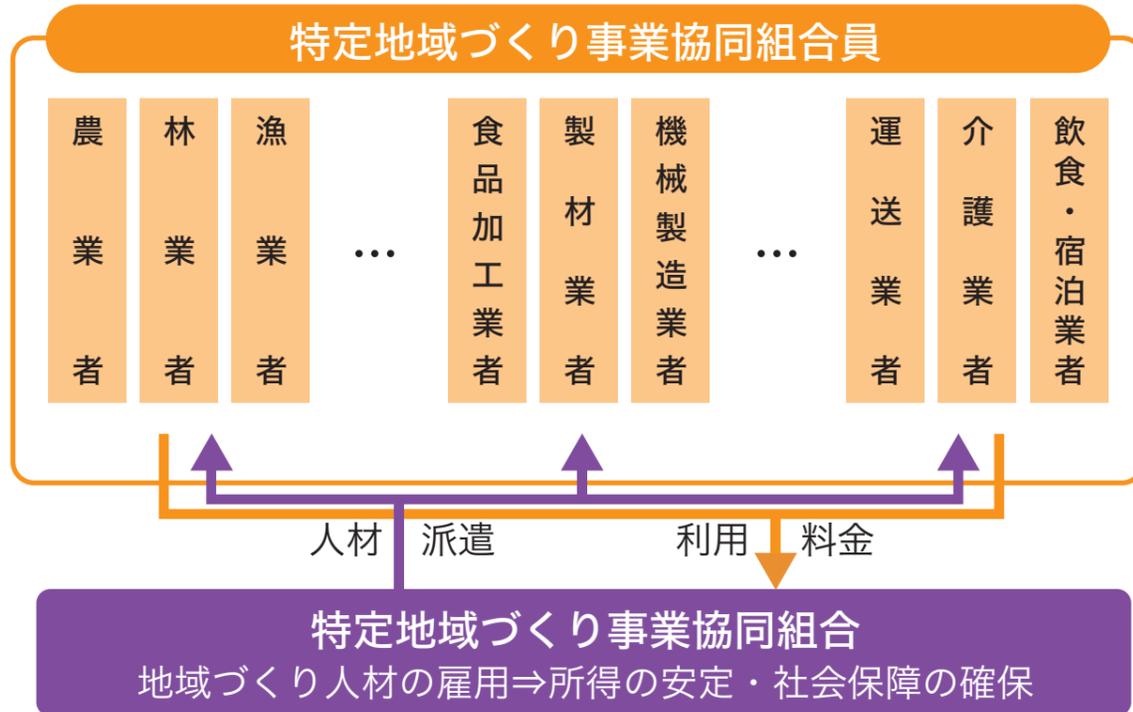
地域産業の担い手を確保するために、特定地域づくり事業を行う協同組合（特定地域づくり事業協同組合の設立と、その事業の推進）に対する補助金を交付し地域社会の維持と地域経済の活性化を図る。

特定地域づくり事業協同組合とは？

人口急減地域（過疎地域）内の事業者の仕事を複数組み合わせることで通年の仕事を創り出し、地域内の事業者を組合員とした「地域の担い手確保」を目的とした事業協同組合のこと。

地域外の若者や、地域おこし協力隊の任期修了者等を職員として雇用し、事業者に派遣する仕組みとなっている。

※イメージ（出典：総務省HP）



委員会での主な論議

- Q 平戸市内に複数の組合を設立することができるのか。
- A 制度上は可能だが、雇用先が競合するなどの状況となるため、事業者を公募した上で1者を選定し、事業の推進を図りたい。
- Q 市内各事業所の働き手が不足する中、本事業を積極的に活用し、機能する制度となるよう、市としても十分な支援が必要ではないか。
- A 本事業を活用する組合が継続的に運営できるよう支援していきたい。



5月臨時会・6月定例会 ここに注目!

令和4年5月臨時会（5月11日）
令和4年6月定例会（6月6日～17日）

4回目の新型コロナウイルスワクチン接種について

総務厚生委員会

新型コロナウイルスワクチン接種事業

接種対象者

3回目のワクチン接種完了から5か月以上が経過した方で、

- (1) 60歳以上の方
- (2) 18歳以上60歳未満の方のうち
 - ①基礎疾患を有する方
 - ②新型コロナウイルス感染症に感染した場合の重症化リスクが高いと医師が認める方



委員会での主な論議

- Q ワクチンの数量に不足が生じる可能性はないのか。
- A ワクチンは国から供給されており、3回目接種用の在庫もある。万一不足する場合は国に追加供給を求めていく。
- Q ワクチン接種に関して平戸市独自の対策は。
- A （比較的接種率が低い）若い世代の接種率向上のため、これまで以上に情報提供を行い、国・県に対しても意見・要望を行っていく。

3度目の ひらどプレミアム商品券を発行!

産業建設文教委員会

地域購買力回復支援事業

今回のプレミアム商品券の概要

- 販売価格 : 1冊・・・10,000円
- 額 面 : 1冊・・・13,000円（1冊 30%のプレミアム付き）
- 使用期間 : 8月上旬から12月末（予定）



委員会での主な論議

- Q 特典内容について
- A 前回20%のプレミアム分を今回は30%にする計画であり、前回以上の申込みが想定されることから、購入制限を設けるなどを検討している。詳細は、今後関係団体で組織する実行委員会において決定する。

ひらどプレミアム商品券事業実行委員会で決定!

購入制限（上限） 1人あたり3冊以内（かつ1世帯あたり10冊以内）

- Q 市民に対しては、全世帯への郵送による通知を予定しているとのことだが、今後同様の事業がある場合は、スマートフォン等による申込みを検討できないか。
- A 自治体DX推進の観点からも将来的に検討していきたい。



6月定例会



5月臨時会



委員長報告全文はこちらをご覧ください。

令和4年6月定例会の主な議案

一般会計補正予算(第4号)は3億8,089万円を増額補正!

事業名	概要	補正額(※)
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	世帯全員が「令和4年度住民税が非課税の世帯」などに給付する。(令和3年度受給世帯を除く) 1世帯あたり10万円	8,310万円
住民税非課税世帯等に対する物価高騰対策支援給付金事業	令和4年度の住民税均等割非課税世帯で、令和4年度の臨時特別給付金を受給しない世帯に対し給付する。 1世帯あたり1万円	4,504万円
子育て世帯生活支援特別給付金事業	令和4年4月分の児童扶養手当の支給を受けている者などに、特別給付金を給付する。 児童1人あたり5万円	5,087万円
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援事業	緊急小口資金等の特例貸付を終了した世帯などに対して支給されていた支援金の期限を延長する。(令和4年6月末日→8月末日まで延長)	375万円
農業関係原油価格・物価高騰対策支援事業	原油・生産資材の高騰による農業生産経費の負担軽減を図るため、燃油や生産資材の購入に対し支援する。	4,104万円
特用林産物関係原油価格・物価高騰対策支援事業	原油・生産資材の高騰により、菌床しいたけ生産団体に対し、生産資材及び燃油購入費の一部を緊急的に支援する。	822万円
漁業関係原油価格・物価高騰対策支援事業	原油・生産資材の高騰により、漁業者に対し燃油等の購入経費を支援する。	3,375万円
地域購買力回復支援事業	新型コロナウイルス、燃油価格及び物価高騰により低迷した商業等の景気対策として、特典付商品券を販売し、地域購買力の向上を図るため支援する。(ひらどプレミアム商品券)	10,695万円
給食材料費高騰対策事業	食料品が高騰する中、給食材料費を市が負担することで、保護者の負担軽減を図る。	814万円

一般会計補正予算(第3号)

事業名	概要	補正額(※)
中野小学校屋外教育環境整備事業	中野小学校グラウンドの法面改修工事	2,300万円
南部中学校屋外運動場改修事業	南部中学校グラウンドの改修工事	6,020万円

令和4年5月臨時会の主な議案

一般会計補正予算(第2号)

事業名	概要	補正額(※)
新型コロナウイルスワクチン接種事業	新型コロナウイルス感染症対策として4回目のワクチン接種を行う。	4,291万円

※ 千円以下は切り捨てし、表記しています。

常任委員会レポート

総務厚生委員会
委員長 松本 正治
副委員長 針尾 直美
委員 神田 全記
吉住 威三美

産業建設文教委員会
委員長 井元 宏三
副委員長 吉福 弘実
委員 綾香 良浩
辻 賢治

竹山 俊郎
山内 貴史
山内 政夫

池田 稔巳
大村 謙吾
近藤 芳人

令和3年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計補正予算(第2号)

Q 指定管理施設である、あづち大島いさりびの里の給湯埋設管破損の漏水により増額した水道料金及びボイラー燃料代について、指定管理者の過失によるものではなく、施設の老朽化によるものであるから、その補填として委託料の増額を行うとのことだが、漏水確認後、最低限の応急措置をとるなど迅速な対応を取っていたらここまで高額にならなかったのではないかと。

A 宿泊の予約を優先したとはいえ初期の対応が遅れたことについては反省し、今後は施設管理のチェック体制を改め、迅速な対応に努める。



あづち大島いさりびの里 漁火館

委員会指摘

老朽化を原因とし、水道料金等が増額した場合については、公費負担の増加につながるということを念頭に置き施設管理をすること。また、この施設に限らず、指定管理を行っている公共施設において今回のような事態への対応など、市全体としての対応マニュアルを整備する必要がある。

令和3年度平戸市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)

Q 平戸港交流広場駐車場におけるゴールデンウィークやお盆の時期などの交通渋滞について、平戸を訪れて来た方、あるいは地元市民に有効に利用していただくため、駐車場の回転率を上げるよう駐車料の無料期間の見直しを含む料金体系の再検討が必要ではないかと。

A 料金設定については赤字運営にならないことはもちろんだが、大幅な赤字とならないことを条件に、県から土地を無償で借りている関係で現在の料金設定となっている。

Q 今後は市民の利便性向上、商店街の振興、駐車場エリアの有効活用など、総合的に判断すべきでは。

A 県や「平戸港交流広場有料駐車場を考える会」等関係団体とも十分協議を重ね最善の方法を模索したい。

農業関係原油価格・物価高騰対策事業

Q 肥料の価格上昇に対する補助について、7月には大幅な値上げが見込まれていることから、資金力がある農家がまとめ買いするケースも考えられるが、特定の人が有利にならないよう補助上限等は設けないのか。

A 大量の肥料を前倒しして購入している事例も確認しているため、栽培面積との比較等を行い、不公平が生じないように努めたい。

Q 肥料に対する補助について、液体肥料も対象となるのか。

A 化成肥料等の価格が高騰しているとの情報に基づき支援制度を検討したが、今後、液体肥料などの価格推移の情報収集に努め、価格高騰により農業経営に影響がある場合、必要に応じて予算の範囲で支援について検討したい。

総務厚生委員会報告は2~3ページに掲載しています

令和4年6月定例会で審議された案件 (令和4年6月6日～17日)

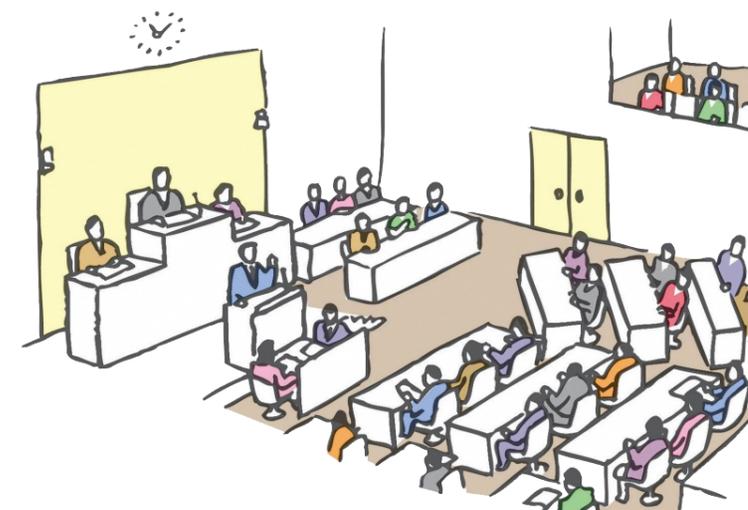


議案番号	件名	結果
43	平戸市議会議員及び平戸市長の選挙における選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	原案可決
44	令和4年度平戸市一般会計補正予算(第3号)	〃
45	令和4年度平戸市一般会計補正予算(第4号)	〃
46	物品購入契約の締結について	〃
47	平戸市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同意
報告番号	件名	結果
9	専決処分の報告について	報告済
10	株式会社田平風力発電所の経営状況を説明する書類の提出について	〃
11	令和3年度平戸市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	〃
12	令和3年度平戸市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	〃
13	令和3年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	〃
14	令和3年度平戸市水道事業会計継続費繰越計算書の報告について	〃
15	令和3年度平戸市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	〃
16	令和3年度平戸市病院事業会計予算繰越計算書の報告について	〃
17	専決処分の報告について	〃
承認番号	件名	結果
8	専決処分の承認を求めることについて(専決第8号 令和3年度平戸市一般会計補正予算(第18号))	承認
9	専決処分の承認を求めることについて(専決第9号 令和3年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算(第2号))	〃
10	専決処分の承認を求めることについて(専決第10号 令和3年度平戸市介護保険特別会計補正予算(第2号))	〃
11	専決処分の承認を求めることについて(専決第11号 令和3年度平戸市宅地開発事業特別会計補正予算(第1号))	〃
12	専決処分の承認を求めることについて(専決第12号 令和3年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計補正予算(第2号))	〃
13	専決処分の承認を求めることについて(専決第13号 令和3年度平戸市駐車場事業特別会計補正予算(第1号))	〃
14	専決処分の承認を求めることについて(専決第14号 令和3年度平戸市病院事業会計補正予算(第3号))	〃
請願番号	件名	結果
2	ゆたかな学びの実現・教職員定数の改善と義務教育国庫負担制度の堅持を求める請願書	採択
議案議番号	件名	結果
3	ゆたかな学びの実現・教職員定数の改善と義務教育国庫負担制度の堅持を求める意見書	原案可決

令和4年5月臨時会で審議された案件 (令和4年5月11日)



議案番号	件名	結果
33	平戸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
34	平戸市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〃
35	平戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
36	平戸市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	〃
37	平戸市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	〃
38	平戸市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
39	平戸市税条例等の一部改正について	〃
40	平戸市企業職員の給与等の種類及び基準に関する条例の一部改正について	〃
41	平戸市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〃
42	令和4年度平戸市一般会計補正予算(第2号)	〃
報告番号	件名	結果
8	専決処分の報告について	報告済
承認番号	件名	結果
4	専決処分の承認を求めることについて(専決第4号 平戸市税条例の一部改正について)	承認
5	専決処分の承認を求めることについて(専決第5号 平戸市都市計画税条例の一部改正について)	〃
6	専決処分の承認を求めることについて(専決第6号 平戸市国民健康保険税条例の一部改正について)	〃
7	専決処分の承認を求めることについて(専決第7号 平戸市介護保険条例の一部改正について)	〃



各議員のQRコードから一般質問の録画中継をご覧いただけます。

利用者の利便性の向上への意見聴取

●「志々伎山周辺」及び「上段の野」の設備や管理について尋ねる。
 ●文化観光工部長 志々伎山登山道ロープは市が材料支給、自治会が設置後、定期的な安全管理をしている。トイレの設置計画はない。登山客状況等も含め環境省や県へ報告を行い

●「春日の棚田保全の現状と存続について尋ねる」
 ●農林水産部長 中山間地域等直接支払交付金や指定棚田地域振興活動計画を策定し保全を行っている。
 ●山岳信仰の対象が安満岳であるライトアップ事業の目的について。
 ●文化観光工部長 交流人口の増加など目的に開催をしている。駐車場関係などもあるため、棚田のライトアップを行っている。

●世界遺産「春日集落と安満岳」「中江ノ島」について
 ●奥平戸観光について
 ●全国学力テストの結果状況と本市の取組みについて

大村 謙吾 (新波クラブ)



●「本市の取り組みについて尋ねる」
 ●教育長 全ての学年の学力を分析し、教師の授業力の向上を図っている。タブレットも活用し、「主体的、対話的、深い学び」になっているか、授業改善を積み重ね、ひとり一人の学びに向かう力を高める努力をしている。

●「長崎1Rは、多種多様な物品調達やサービスの需要など、地域経済に大きなインパクトをもたらす重要なプロジェクトであり、本市における農産物及び水産物を含む食材をいかに1R及びハウステンポスに売り込むかが重要となり、これから始まる各地特産品の売り込みを有利に展開するため、早めの取組と行政、農協、漁協、商工会議所等の多岐にわたる供給体制確立が必要と考えるが、行政としての今後の取組について尋ねる」
 ●文化観光工部長 昨年12月にハウステンポスのパーク内にある約40店舗の飲食店を統括する担当部長と農水産物の使用に向けた商談を行うなど、1R内のホテル取引に向けた宣伝につながるような取組についても継続して取り組んでいきたい。
 ●農林水産部長 農林水産物の売り込みに関しては、販路拡大のチャンスでもあり、農協や漁協などの各生産団体が主体となり各方面からの情報収集に努め、各生産団体への情報提供を行うなど、県と連携しながら今後取り組んでまいりたい。

●「長崎1Rは、多種多様な物品調達やサービスの需要など、地域経済に大きなインパクトをもたらす重要なプロジェクトであり、本市における農産物及び水産物を含む食材をいかに1R及びハウステンポスに売り込むかが重要となり、これから始まる各地特産品の売り込みを有利に展開するため、早めの取組と行政、農協、漁協、商工会議所等の多岐にわたる供給体制確立が必要と考えるが、行政としての今後の取組について尋ねる」
 ●文化観光工部長 昨年12月にハウステンポスのパーク内にある約40店舗の飲食店を統括する担当部長と農水産物の使用に向けた商談を行うなど、1R内のホテル取引に向けた宣伝につながるような取組についても継続して取り組んでいきたい。
 ●農林水産部長 農林水産物の売り込みに関しては、販路拡大のチャンスでもあり、農協や漁協などの各生産団体が主体となり各方面からの情報収集に努め、各生産団体への情報提供を行うなど、県と連携しながら今後取り組んでまいりたい。

●2050年の温室効果ガスの排出量実質ゼロの実現のため、環境省がCO₂排出量に応じて企業に税負担を課す炭素税を近年、本格的に導入していく方向。平戸市においても企業が苦しい未来となり経済活動にブレーキがかかる事態になることが想定される。そこで現在、地域から回収した食用油の廃油からバイオ燃料を製造し純度の上で日本一となった企業が平戸にある。これをCO₂削減に向けて事業として使わない手はないと思う。地球に優しく地域による持続可能な資源、循環型の地産地消エネルギーであるバイオ燃料利用提案について、市長の見解を伺う。

●「長崎1Rは、多種多様な物品調達やサービスの需要など、地域経済に大きなインパクトをもたらす重要なプロジェクトであり、本市における農産物及び水産物を含む食材をいかに1R及びハウステンポスに売り込むかが重要となり、これから始まる各地特産品の売り込みを有利に展開するため、早めの取組と行政、農協、漁協、商工会議所等の多岐にわたる供給体制確立が必要と考えるが、行政としての今後の取組について尋ねる」
 ●文化観光工部長 昨年12月にハウステンポスのパーク内にある約40店舗の飲食店を統括する担当部長と農水産物の使用に向けた商談を行うなど、1R内のホテル取引に向けた宣伝につながるような取組についても継続して取り組んでいきたい。
 ●農林水産部長 農林水産物の売り込みに関しては、販路拡大のチャンスでもあり、農協や漁協などの各生産団体が主体となり各方面からの情報収集に努め、各生産団体への情報提供を行うなど、県と連携しながら今後取り組んでまいりたい。

●「長崎1Rは、多種多様な物品調達やサービスの需要など、地域経済に大きなインパクトをもたらす重要なプロジェクトであり、本市における農産物及び水産物を含む食材をいかに1R及びハウステンポスに売り込むかが重要となり、これから始まる各地特産品の売り込みを有利に展開するため、早めの取組と行政、農協、漁協、商工会議所等の多岐にわたる供給体制確立が必要と考えるが、行政としての今後の取組について尋ねる」
 ●文化観光工部長 昨年12月にハウステンポスのパーク内にある約40店舗の飲食店を統括する担当部長と農水産物の使用に向けた商談を行うなど、1R内のホテル取引に向けた宣伝につながるような取組についても継続して取り組んでいきたい。
 ●農林水産部長 農林水産物の売り込みに関しては、販路拡大のチャンスでもあり、農協や漁協などの各生産団体が主体となり各方面からの情報収集に努め、各生産団体への情報提供を行うなど、県と連携しながら今後取り組んでまいりたい。

●長崎1R統括センター誘致における平戸市の現状取組について
 ●環境保全におけるCO₂削減に向けた再生可能エネルギーの普及について
 ●バイオ燃料の利用促進について

山内 貴史 (新波クラブ)



●「長崎1R統括センター誘致における平戸市の現状取組について」
 ●環境保全におけるCO₂削減に向けた再生可能エネルギーの普及について
 ●バイオ燃料の利用促進について

●「長崎1R統括センター誘致における平戸市の現状取組について」
 ●環境保全におけるCO₂削減に向けた再生可能エネルギーの普及について
 ●バイオ燃料の利用促進について

●「長崎1R統括センター誘致における平戸市の現状取組について」
 ●環境保全におけるCO₂削減に向けた再生可能エネルギーの普及について
 ●バイオ燃料の利用促進について

●「長崎1R統括センター誘致における平戸市の現状取組について」
 ●環境保全におけるCO₂削減に向けた再生可能エネルギーの普及について
 ●バイオ燃料の利用促進について

意見書 可決

ゆたかな学びの実現・教職員定数の改善と義務教育国庫負担制度の堅持を求める意見書

国会及び政府におかれましては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国庫負担割合を2分の1に復元すること。

令和4年6月17日

長崎県平戸市議会

(提出先) 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

～緑のカーテン～

平戸市では、2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、これまでに「CO₂排出ゼロ都市宣言(※1)」「ゼロカーボンシティひらど(※2)」を表明しており、地球温暖化対策に向けた取組を実践しています。

市議会でも、今年、この取組みの一環である「緑のカーテン」事業に参画し、市役所4階(議会フロア)の談話室外にゴーヤとヘチマの苗を植栽しました。



※1 CO₂排出ゼロ都市宣言(平成26年9月)
 ※2 "ゼロカーボンシティひらど"の表明(令和2年4月)
 国際社会の一員としてさらなるCO₂削減に取り組む決意を改めて表明

十分に葉が茂った緑のカーテンは、室内への日射の熱エネルギーを約80%カットするほか、葉の蒸散作用により放射熱を抑制するなどの効果があります。 出典：環境省HP

●平戸市における自治体DXについて



近藤 芳人（新波クラブ）



自治体DXという言葉をよく聞く。本市も「DX戦略室」なる新組織が立ち上がったが。

市長 政府は目指すべきデジタル社会実現に向け「自治体DX推進計画」を策定。全自治体が重点取組事項6項目などに取り組む。

総務部長 本市DX推進のため、市長が本部長の平戸市DX推進本部を設置。また、関係団体の意見を聴くDX推進委員会を設置。個別事業については各課主導で実施する。

高速通信インフラが不可欠。5Gは都市部の整備が優先されようからローカル5G(地域・産業のニーズに応じて地域の企業や自治体等が個別に利用できる)整備支援が有効。

総務部長

×リットも多いが未検討。

防災メールの対象範囲を行政全般に広げ、市民に必要な情報を発信できるものにする。さらに各種住民サービスも合わせ、一つのアプリで実現すべし。例えば公共施設の予約、図書貸出し、ボランティアポイントの蓄積、次の公共料金の支払いのお知らせなど。

総務部長 有効な手段として認識している。行政手続きのオンライン化と併せ検討したい。

目の不自由な方向けに文字の読み上げ機能、点字プリンターの充実、歩行支援などを、耳の不自由な方向けに音声の活字化や手話アプリの活用、音声告知が多い緊急情報に早く気づく仕掛けなどを実現してほしい。

総務部長 高齢者や障がいを持つ方などが感じる困難や課題を体系的に整理し、利用者目線に立ったサービス提供に努める。

全国一律の「義務的なDX」をこなすだけでなく、平戸市が全国の自治体をリードする「主体的DX」を目指してほしい。わざわざ窓口に向かず手続きできるなら、離島やへき地に住む方、移動困難者の問題が1つ解消する。高い専門性を有する職員の育成も重要。

市長 自治体が目指すべきは「わざわざ何々しなくてもいい」世界。そうなるよう、人材育成を仕組み、平戸市だからできる事業に先進的に取り組み、真のバリアフリー社会を目指す。

平戸市交通船に係る安全運航及び船員雇用について



松尾 実（平戸市民クラブ）



市が運営している交通船(第2フェリー大島)は平成31年3月就航して以来、今日まで大島の方々の生活に欠かせない船である。そこで、通信設備の状況、荒天時の運航判断、船員の配置体制など危惧する部分はないのか。

市長 平戸市市営交通船運航基準及び平戸市交通船安全管理規定にのっとり適切に運航している。荒天が予想される場合は迅速に運航の可否を決定するなど利用者の安全を第一に運航している。

今年度で定年となる船長、機関長であるが、今後の船員の確保、人材の育成はされているのか。

総務部長 船長は、会計年度任用職員として、機関長は定年延長で勤務予定。平戸市交通船の安定的かつ安全な運航のため計画的な船員の確保及び育成に努めていきたい。

民生委員・児童委員の現状と今後の課題は。

福祉部長 現在、民生委員108名、主任児童委員20名、合わせて128名が定数となっており、うち民生委員、児童委員2名が欠員の状況。昨年度

●生月病院の医師確保と収益の相関、渡海人まつり、学校の統廃合、消防職員採用について



井元 宏三（大地の会）



生月病院に医師確保をお願いしているが、実現できた場合、当然人員費の増加が生じるが収益面では病院の経営にどのように影響すると見込んでいるのか。

病院局長 経営面への影響については、人件費として約2千万円の費用が生じるが、過去の決算において、医業収益は約8600万円の差額が出ていることから、生月病院に医師1名を確保できた場合の収支は6千万円を超える収益が見込まれるので、経営は好転するものと考えている。

渡海人まつりについて、最近では来場者も増え、会場周辺の渋滞が問題となってきた。平戸大橋は平戸を出るにも入るにも唯一の陸路となっている。今後も会場は平戸大橋公園で開催しなければならぬのか。

文化観光商工部長 会場である平戸大橋公園は、最適の場であるが、ご指摘のまつり開催時の平戸大橋周辺の渋滞対策等もあり、今後実行委員会と協議、検討していきたいと考えている。

教育委員会として、学校の統廃合を積極的に推し進めていくのか。

教育長 積極的に推し進めることはしない。保護者の声を大事にし、地域住民の理解を図りながら、地域の拠点として魅力ある学校となるよう新たな学校の在り方も視野に入れ、検討していく。

廃校後の学校施設の活用方法は、どのように考えているのか。

教育次長 学校以外の行政目的での利活用の検討はもちろんだこと、併せて地域の実情や要望等を踏まえ、施設の老朽化の状況などを勘案し、地域の声を聴きながら協議検討し決定したいと考えている。

女性消防職員の採用については、どのように考えているのか。

消防長 一度に複数採用することも考え、消防本部は受入れの環境整備済みであるが、今後は出張所の整備を検討し、女性職員の受入れ対応として、ハラスメントなどの研修を女性消防吏員活躍推進アドバイザーを招き、実施したところであり、令和7年度までに採用割合3%を目標に進めていきたい。

ライフカントリー冒険ランド跡地活用について



松口 茂生（平戸市民クラブ）



現在跡地の危険個所で遊んでいる子どもたちがいるが、事故などが起こった場合、市の管理体制は問題視されると思うが如何か。

教育次長 議員ご指摘のとおり侵入防止柵等の設置が無かったため、進入禁止のロープ張り、注意表示の対応をさせていた。

跡地は市民の大切な財産であるが現在有効活用されていない。スケートボード場など子どもが集える場として再整備する考えはないか。

教育次長 当該箇所については、勾配がきつく湧水など地盤が不安定であることが制約となり、再整備には不向きであると判断している。

民間のアイデア等を入れながらの利活用もあると思うが、今後この跡地をどのように市民に開放して行くのか。

教育次長 ツツジの鑑賞、ウォーキングコースとしての利用を考えたい。跡地の利活用については、調査研究し有効活用できるように検討したい。

高齢者いきいきおでかけ支援事業の申請率を上げるためには何が必要と思うか。

福祉部長 アンケート結果を踏まえ、使い勝手等を調査・研究しながら制度の見直しを検討する。
離島の方々の加算額を増額する考えはないか。
福祉部長 利用者状況やニーズ、離島地区以外の利用者との均衡等について考慮した上で検討したい。
自動車運転免許証を自主返納された方には年齢に関係なく対象としている自治体もあるが、本市としてもそのような事を検討できないか。
市長 市内で格差が生じれば、いけない事であるが、各自治体がどの施策に予算を充たすべきかは、それぞれの判断である。この事業は高齢者同士が顔を合わせ健康を確認し、励まし合いながら、また行きたくなくなるまちづくりを支援するインセンティブ事業である事を理解頂きたい。
部長からは、この事業の見直しを検討する旨の発言だったが、前向きな検討の指示を出して頂けるのか。
市長 ニーズ把握し、有効に活用できるよう、申請率や利用率が上がるような利便性の高いものに改変し、利用促進を促す検討を進めたい。

●環境行政について
●教育行政について

吉住 威三美 (平戸市民クラブ)



Q 令和2年4月「ゼロカーボンシティひらど」を目指し、2050年までに二酸化炭素排出量ゼロ実現に取り組み決意を表明し、2014年には平戸市CO₂排出ゼロ都市宣言をしたが、市長の取り組み思い、見解は。

市長 本市は他の地域に比べ、風況環境が良好なため、第3セクターや民間事業者による風力発電施設の整備が先駆的に行われ、今後も新たな施設整備が計画されている。温室効果ガスの削減効果がより具体的にることから「ゼロカーボンシティひらど」を表明した。地球温暖化対策の必要性を再認識し、取組みを進める。

は自前の電力を持たない。これを解決するための方法として公共施設の屋上にソーラー発電を設置したり、ダムを水面を利用したフローティンソーラーなどに取り組んでいます。

Q 平戸市地域脱炭素ロードマップ策定事業の市長の見解は。

市長 本市の立地特性、再生可能エネルギーの賦存量を踏まえ、普及段階にある技術や短期的に実施可能な基本の取組みが13項目。将来的な技術革新や課題解決、制度設計などが必要な応用・発展の取組み8項目の計21項目に分類した手法をエリア別に実践していく。

Q 提案だが、例えば平戸電力㈱なものも設立してはどうか。自治体

Q 児童・生徒が減少している中で珠算や書道などの検定料の助成で子どもたちが少しでも前向きに取り組めるような体制が必要ではないか。

Q 総合計画に掲げる高等教育機関の誘致活動の取組みとその結果及び今後の考え方は。

Q 公園についての要望や陳情は、どのように検討され設置に至るのか。

針尾 直美 (新波クラブ)



市長 人口減少抑制対策の一つとして地場産業を支える人材育成、若年層の確保を目的とし県内の学校法人を視野に、農学系の大学または学部誘致に向けて取組んだが、学校用地の確保をはじめ短期間での解決が難しい課題が多く、一旦白紙とした。高等教育機関の役割は重要であり、引き続き情報収集に努めていく。

Q 産業振興と担い手確保の課題解決には、大学誘致だけでなく、産学官連携にも可能性がある。また、関係人口を増やすことは地域活性化に不可欠。連携分野が固定化している現在の産学官の取組を、例えば農学系の大学など他の分野にも拡げることが必要。連携のための拠点施設を求める声も聞かえる。連携を促進し、平戸を学びのフィールドとして多くの学生や平戸のファンに来ていただくために、その環境整備として、空き家や廃校を拠点施設としてはどうか。

市長 平戸が学びの場所として選ば

●資材高騰による農業生産者への支援について
●妊婦の医療費及び通院費等の助成について
●市道永久保線の改良工事について



吉住 龍三 (政和会)



Q 農業生産資材、出荷資材、燃油の高騰について生産者への影響をどのように認識されているのか。

市長 農業経営に大きな影響を及ぼす生産資材や燃油等について、市独自の支援を検討している。

農林水産部長 本来農畜産物に価格転嫁を図る必要があるが、販売価格に反映されにくく、農業者への大きな負担であり、市として農業生産資材や燃油の価格高騰について価格上昇分の一部支援を検討している。

Q 元肥・追肥以外の化成肥料・液肥土壌改良剤・葉面散布剤・微量要素肥料等どこまで補助するのか。

農林水産部長 高度化成肥料や普通化成肥料、有機入り化成肥料などの支援を検討。石灰資材、土壌改良剤、液肥等多様な肥料が使用されている。今後の価格の動向を注視しながら、幅広く十分検討したいと考えている。

Q 飼料の対策については。

農林水産部長 粗飼料等の価格高騰、子牛用の牧草などの価格高騰に対する支援というところで検討している。

Q 次の春肥までの手立てをしっかりとりたい。

Q 市の基幹産業である観光について十数年以上計画が策定されていないが、観光施策推進上の影響はないか。

Q 市道永久保線の未整備400メートルの改良計画はどうなっているのか。